

万博公園探鳥会

2026年5月9日(土)

田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美

玉置こるり・藤村和彦・平軍二(090-6901-1425)

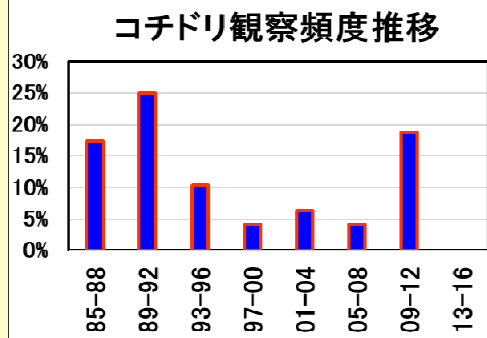
I 万博公園の鳥第11回「コチドリ」

学名 *Charadrius dubius* 漢字名 小千鳥 英名 Little Ringed Plover

4月の万博公園探鳥会では自然文化園内のもみじ川(～砂の広場)で、コチドリが観察できた。その後、自然文化園内ではないが、更地になって2年ほど放置されている「住宅展示場跡地」にコチドリが営巣中と思われる姿が観察できるようになったので、報告したい。



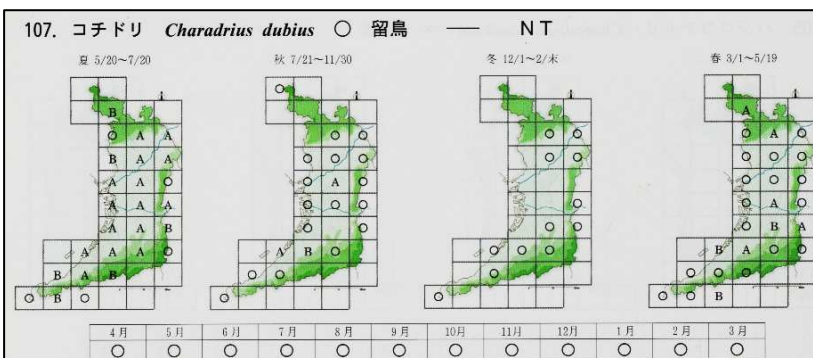
万博公園探鳥会をスタートした頃から、ほぼ毎年、4～5月の探鳥会でコチドリを観察してきた。コチドリがいた所は「水すましの池の上流側」、「もみじ川」「砂の広場」などのほか、雨が降ったあとの水たまりができた「東の広場」などでも観察できた。その後、「東の広場」など各広場でイベントが増え人出が多くなったこともあり、コチドリがほとんど観察できなくなっていた。今シーズンに入って園内で観察できる日があり、その個体が飛んでいなくなることがあった。飛んだコチドリがいる場所は、2年前に更地となった「住宅展示場跡地」であることがわかった。しかもここでは、跡地内を動き回っている個体の他に、更地に座っている(=抱卵していると推定)姿も観察できることがわかった。



「住宅展示場」は2023年に閉館し、万博記念公園駅前の再開発計画が立案され共同住宅を含む複合施設が予定されていた。公園敷地内での住宅建設に対する反対意見などがあり、計画見直しの動きがあるが、いずれにしてもコチドリが営巣地として利用できるのは今年1年から来年までと思われるので、吹田市で唯一のコチドリ子育てが成功するよう願っている。

もともと吹田市でのコチドリ子育ては、JR岸辺駅周辺の「吹田操車場跡地」にあったが、20年前に「JR貨物駅」の整備、「国立循環器病研究センター」建設などで空き地が無くなり、コチドリは吹田市北部周辺の空き地を「転々」としている。

例えば万博公園「住宅展示場」すぐ北側～西側に広がっている現在の「大阪モノレール車両基地」が建設時更地となっていた時に、コチドリが子育てしていたことを観察した。



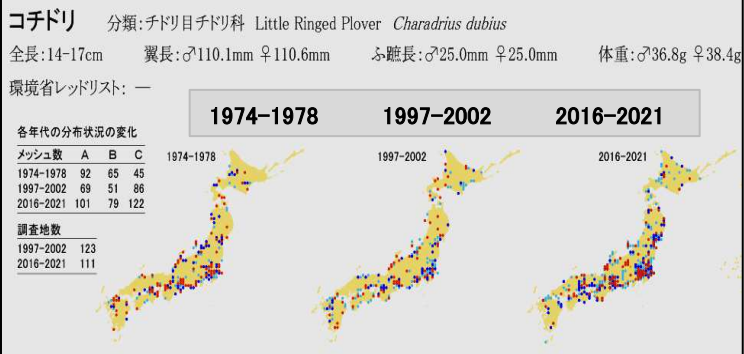
I ②大阪府鳥類目録2016

大阪府では左図のように、ほぼ全メッシュで繁殖が確認されている。

また、各メッシュにほぼ一年中生息している。

I ③日本の繁殖分布図
全国鳥類繁殖分布調査2016～2021
(鳥類繁殖分布調査会 2021年)

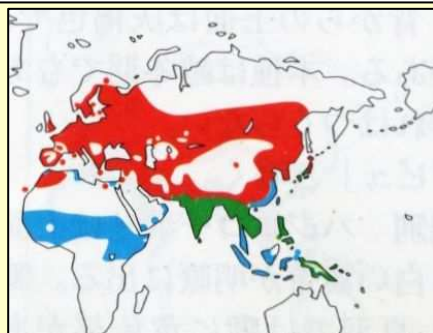
巢夏鳥として全国で繁殖し、一部越冬するものもいる。砂浜、河原、埋め立て地などの裸地で営巣するが、駐車場や畑など、ほかのチドリ類と比べて生息地の幅が広い。そのためか、記録メッシュ数も大きく増加している。



I ④コチドリ 世界の繁殖越冬分布図

真木・大西 日本の野鳥590 2000年 平凡社

日本では九州以北に夏鳥として渡来するが、本州中部以南では少数が越冬する。
 (大阪府などでは上記 I ②にある通り留鳥としている。
 世界的には右図の通りユーラシア大陸に広く繁殖しており、アフリカ大陸に越冬地がある。



II 先月2026年4月11日の探鳥会記録

スタート時、太陽の塔上の剣に止まるチョウゲンボウを見た。最近チョウゲンボウを太陽の塔周辺、EXPO70パビリオン周辺に良く姿を見せるので、園内のどこかで繁殖しているのではないかとと思われるものの確認できていない。「水すましの池」上流で越冬しているタシギはまだ残っていて2羽が姿を見せた。今冬ゆっくり姿を見せることになかったツグミが、地上においてのエサ取りを何回も見ることができた。春の渡り鳥は「砂の広場」でコチドリが2羽見ることができ、林の小鳥では各1羽ずつであるがセンダイムシクイ・コサメビタキ・キビタキを確認した。今日のトビックスは桜の花を食べるハシブトガラス、これまで「カラスの枝落とし」と略称されている液果を食べる行動を確認しているが、桜の花を餌源としている姿は、初めて見ることができた。今月は2020年3月のコロナ禍以降では最高、46名の方が参加して下さったが、ニューナイスズメ・タシギ・コチドリ、そしてハシブトガラスなど、鳥のいろいろな行動を楽しんでもらうことができた。



ニューナイスズメ



タシギ



カワセミ



ツグミ



ハシブトガラス

上記6枚 橋本昌宗氏

Ⅲ ハシマガリチドリ属のシロチドリ? バードリサーチ 守屋年史氏 20260401

コチドリを調べていたら、こんな説明文が出てきました。日本では鳥類目録第8版を公表したばかりであり、10年ほどは改訂しないと思いますが、世界ではこんな方向に進んでいるそうです。即ち、今までチドリ属として同一だった**コチドリ・イカルチドリ**と、**シロチドリ・メダイチドリ**が違う属とのことです。平が見たこの文献「**ハシマガリ属のシロチドリ**」を検索してみてください。

グループ	学名 (第8版ベース)	和名 (太字は日本産種)	学名 (改訂後)
	<i>Pluvialis squatarola</i>	ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>
CRD I	<i>Charadrius modestus</i>	ムネアカチドリ	<i>Zonibyx modestus</i>
	<i>Eudromias morinellus</i>	コバシチドリ	<i>Eudromias morinellus</i>
	<i>Charadrius vociferus</i>	フタオビチドリ	<i>Charadrius vociferus</i>
	<i>Charadrius hiaticula</i>	ハジロコチドリ	<i>Charadrius hiaticula</i>
	<i>Charadrius melodus</i>	フエコチドリ	<i>Charadrius melodus</i>
	<i>Charadrius semipalmatus</i>	ミズカキチドリ	<i>Charadrius semipalmatus</i>
	<i>Charadrius tricollaris</i>	ミスジチドリ	<i>Thinornis tricollaris</i>
	<i>Thinornis rubricollis</i>	ニシミスジチドリ	<i>Thinornis rubricollis</i>
	<i>Thinornis novaeseelandiae</i>	ズグロチドリ	<i>Thinornis novaeseelandiae</i>
	<i>Charadrius forbesi</i>	ノドグロチドリ	<i>Thinornis forbesi</i>
	<i>Charadrius placidus</i>	イカルチドリ	<i>Thinornis placidus</i>
	<i>Charadrius dubius</i>	コチドリ	<i>Thinornis dubius</i>
	CRD II	<i>Charadrius asiaticus</i>	ニシオオチドリ
<i>Charadrius veredus</i>		オオチドリ	<i>Anarhynchus veredus</i>
<i>Charadrius mongolus</i>		メダイチドリ	<i>Anarhynchus mongolus</i>
<i>Charadrius leschenaultii</i>		オオメダイチドリ	<i>Anarhynchus leschenaultii</i>
<i>Charadrius bicinctus</i>		チャオビチドリ	<i>Anarhynchus bicinctus</i>
<i>Charadrius obscurus</i>		ニューージーランドチドリ	<i>Anarhynchus obscurus</i>
<i>Anarhynchus frontalis</i>		ハシマガリチドリ	<i>Anarhynchus frontalis</i>
<i>Charadrius collaris</i>		クロオビチドリ	<i>Anarhynchus collaris</i>
<i>Charadrius wilsonia</i>		ウイルソンチドリ	<i>Anarhynchus wilsonia</i>
<i>Charadrius montanus</i>		ミヤマチドリ	<i>Anarhynchus montanus</i>
<i>Charadrius alticola</i>		ブナフタオビチドリ	<i>Anarhynchus alticola</i>
<i>Charadrius falklandicus</i>		コフタオビチドリ	<i>Anarhynchus falklandicus</i>
<i>Charadrius thoracicus</i>		マダガスカルチドリ	<i>Anarhynchus thoracicus</i>
<i>Charadrius sanctaehelenae</i>		セントヘレナチドリ	<i>Anarhynchus sanctaehelenae</i>
<i>Charadrius pecuarius</i>		ヒメチドリ	<i>Anarhynchus pecuarius</i>
<i>Charadrius ruficapillus</i>		アカエリシロチドリ	<i>Anarhynchus ruficapillus</i>
<i>Charadrius nivosus</i>		ユキチドリ	<i>Anarhynchus nivosus</i>
<i>Charadrius pallidus</i>		クリオビチドリ	<i>Anarhynchus pallidus</i>
<i>Charadrius peronii</i>		クロエリシロチドリ	<i>Anarhynchus peronii</i>
<i>Charadrius marginatus</i>		シロピタイチドリ	<i>Anarhynchus marginatus</i>
<i>Charadrius alexandrinus</i>	シロチドリ	<i>Anarhynchus alexandrinus</i>	



カイツブリ



シジュウカラ



ハシブトガラス

上記3枚 小河敏之氏

IV 万博公園探鳥会 観察鳥チェックリスト(第8版ベース)

万博 NO	第8 版	種名	2025					2026					第8 版	万博 NO	第8 版	種名	2025					2026					第8 版
			3	4	5	6	7	3	4	5	6	7					3	4	5	6	7	3	4	5	6	7	
1	21	オシドリ	1			雨		5					21	58	458	ヒヨドリ	88	10	14	○	11	17	15			458	
2	23	トモエガモ				天							23	57	461	ツバメ		4	10		9		3			461	
3	27	オカヨシガモ	1			中		4	2				27	58	462	イワツバメ			12							462	
4	28	ヨシガモ				止							28	58	463	コシアカツバメ			7				1			463	
5	29	ヒドリガモ				歩							29	60	464	ウグイス	1	7	9	○	2	2	7			464	
6	32	カルガモ	25	10	8	奇	4	24	10				32	61	466	ヤブサメ										466	
7	33	マガモ						1					33	62	467	エナガ	4	4	2		9	5	3			467	
8	34	オナガガモ											34	63	476	センダイムシクイ							1			476	
9	35	コガモ						1					35	64	479	エソムシクイ										479	
10	38	ホシハジロ	1										38	65	481	メボソムシクイ										481	
11	43	キンクロハジロ	3					1	1				43	66	482	オオムシクイ										482	
12	56	ミコアイサ											56	67	484	オオヨシキリ										484	
13	68	アマツバメ											68	68	501	メジロ	10	2	7		8	17	16			501	
14	82	ツツドリ											82	69	507	ムクドリ	18	5	7	○	11	5	4			507	
15	88	キジバト	8	3	6	○	4	8	2				88	70	509	コムクドリ											509
16	93	アオバト	2	2				2	2				93	71	514	トラツグミ											514
17	96	クイナ											96	72	526	シロハラ	18	15				2	4			526	
18	100	バン				○							100	73	527	アカハラ											527
19	101	オオバン	4	4				2					101	74	531	ツグミ	23	11				17	24			531	
20	117	カイツブリ	8	6	6	○	3	11	8				117	75	532	ハブジョウツグミ											532
21	118	カンムリカイツブリ	1					1					118	76	533	エソビタキ											533
22	128	ケリ											128	77	537	コサメビタキ	1	1					1			537	
23	134	イカルチドリ											134	78	539	オオルリ											539
24	135	コチドリ		2					2				135	79	545	コマドリ											545
25	163	トウネン											163	80	550	キビタキ			5	○			1			550	
26	183	タシギ	2					1	2				183	81	566	ルリビタキ											566
27	188	イソシギ											188	82	561	ジョウビタキ	8	1					3			561	
28	213	ユリカモメ											213	83	564	インヒヨドリ	1	1								564	
29	315	カワウ	2	3	6		9	8	3				315	84	568	ノビタキ											568
30	328	ゴイサギ											328	85	574	ニューナイスズメ		7					23			574	
31	333	アオサギ	4	1	3		2	2	2				333	86	575	スズメ	10	12	19	○	13	7	18			575	
32	335	ダイサギ							1				335	87	584	キセキレイ	1	1									584
33	337	コサギ	2		1			1	1				337	88	585	ハクセキレイ	7	3	2	○	9	12	4			585	
34	343	ミサゴ						1					343	89	586	セグロセキレイ	1	1					1			586	
35	344	ハチクマ			6								344	90	591	ピンズイ	2	3								591	
36	352	ツミ											352	91	595	タヒバリ		1									595
37	353	ハイタカ	3					1					353	92	597	アトリ	4	6				2	1			597	
38	354	オオタカ							1				354	93	598	シメ							6	9			598
39	359	トビ											359	94	600	イカル	17		1			10				600	
40	363	サシバ			1								363	95	608	カワラヒワ	8	7	17		4	38	7			608	
41	366	ノスリ						1					366	96	618	ホオジロ											618
42	384	カワセミ	5	3	3		2	3	3				384	97	625	カシラダカ											625
43	388	アリスイ											388	98	633	アオジ	5	3				1	2			633	
44	390	コゲラ	2	4	5		1	2	4				390	99	11	ドバト	○	○	○	○	○	○	○			11	
45	402	テオウゲンボウ	2	1				1	1				402	100	25	ソウシチョウ		1									25
46	407	ハヤブサ											407			カッコウSP											
47	411	サンショウクイ											411			ムシクイSP			1								
48	412	カウチクイ											412			タカSP											
49	419	サンコウチョウ											419	101	26	ハシビロガモ											26
50	425	モズ	1	1				1					425	102	543	ノゴマ											543
51	435	ハシボソガラス	22	7	16	○	8	7	8				435			種数(種)	42	39	30	12	21	42	41				
52	436	ハシトガラス	81	35	13	○	16	76	32				436			個体数(羽)	414	215	203		137	317	248				
53	439	ヒレンジャク											439			天候	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴				
54	442	ヤマガラス	4	2	4		1	2	2				442			参加者数(人)	33	38	21	(11)	23	42	46				
55	447	シジュウカラ	15	16	14		11	12	16				447														

V 次回 6月13日(土)9:30～ 万博公園探鳥会

今月同様、大阪支部HPのホームズ様式からお申込みくださるようお願いいたします。
 又は、平宛メール g. 0501.hi@gmail.com or 電話090-6901-1425で連絡ください。